

9 ヒロハヤブソテツ *Cyrtomium macrophyllum*
Tagawa

兵庫県では宍粟郡船越山で採集したのみですが、更に調査をすれば新産地が出るのではないのでしょうか、いずれにしても兵庫県では稀のように思われます。

10 ダニイヌワラビ *Athyrium otophorum* Koidz.

筆者は兵庫県では前記宍粟郡船越山及び飾磨郡雪彦山で採集していますがまだ他に丹波、但馬には産するものと思われます。本種は葉の先が鋭尖頂で葉の表面小羽片中軸にとびが出て居ります。又此の属のものは冬枯れますが、本種は枯れないので他のものと区別することが出来ます。

11 シケチシダ *Cornopteris decurrenti-alata*
Nakai

本種は京都府では各地に普通に産する種類ですが、兵庫県では葉外小いように思われていました。しかしこれも調査不十分で更に調べれば次々と産地が出るのではないのでしょうか、筆者は氷の山、雪彦山等で採集して居ります。他に丹波では各地に産する様に思われます。

12 アオネカヅラ *Marginaria niponica* Nakai

兵庫県では雪彦山、船越山、有馬郡蓋村等で採集しましたが他に赤穂郡赤松村岩木や同郡矢野村森で室井先生が採集して居られます。本種は觀賞価値のある羊歯で盆栽家のよく好むものですがミズゴケと砂で鉢にすれば、よく活着し素人にでも栽培することが出来ます。

13 ミヤコイヌワラビ *Athyrium fragulum* Tagawa

本種は兵庫県では生物第4巻雪彦山植物採集記で岩

谷成彦氏がはじめて報じていられ、其後筆者は船越山と前記雪彦山で採集しました。なお調査するにつれて更に新産地が出るのではないかと思います。本種は葉の表面に毛が生えているのと羽片の中軸に赤味又は紫色がさして居りますので他のものと区別することが出来ます。

14 オサシダ *Spicantopsis amabilis* Nakai

本種は日本全土に広く分布していますが、案外少い種類で兵庫県では六甲山に産するのみで他に産地は発表されていません。何処か兵庫県で産地が出ることを期待しています。本種はシソ科とよく似ていますが、根茎がオサシダは横走して居りますので区別出来ます。

15 カラクサイヌワラビ *Athyrium elivicolum*
Tagawa

本種は六甲山及び宍粟郡奥谷村西国有林で採集しましたが、更に調査すれば産地が出るものと思われまゝ。本種はヤマイヌワラビやヒロハイヌワラビに似て居りますが小羽片に短い柄があり基部も稍広くなります。

以上兵庫県に産する羊歯の数種について書いてみましたが、筆者は兵庫県の羊歯について更によく調査してみたいと思つて居ります。兵庫県の近くの府県で産地があつて兵庫県にないもの、又は当然兵庫県にもあるべきものでまだ採集されていないもの等がある様に思ひます。もし県下産の羊歯でどんな事でもお気付のものがありましたら筆者宛（加古川市別府町西脇）御知らせ又は標本御恵与下さる様お願い申し上げます。

(Oct. 25, 1951)

ワカサギ移入の歴史

樋口繁一

有馬郡道場村（昭和26年より神戸市に編入）に神戸市水道水源地がある。有馬郡内2ヶ村川辺郡内1ヶ村多紀郡内1ヶ村の水が武庫川に落ち合うところをせき止めて、人造湖を造り水をたゞえているのである。周囲16km.もあつて、舟もあり岩あり、花あり、四季の眺よく名勝地になつて居る。この池にワカサギの養殖が行われている。ワカサギは北海道や北朝鮮等の割合寒い地方の魚で早春に海から遡河して産卵し、稚魚は海で大きくなるのであるが、海に出ることなく湖や沼で大きくなることもある。この例が霞ヶ浦である。今から35年程前、有馬郡高平村に三石と云う人がいた。郷土は海に遠く新しい魚に乏しいので村の中央を流れる川に、この魚の繁殖を計画した。霞浦から稚魚を取り寄

せ放流して見たが一向に繁殖しない。翌年遡河する頃待つても魚は姿を見せない。再び霞ヶ浦から稚魚を取り寄せたが又失敗であつた。ところが数年たつて4km程川下のこの水道水源地に今まで見た事のない美しい魚の群を見つけたと聞いた。三石氏の喜びは十和田湖の和井内氏以上であつたでせう。三石氏が数年前に放流したワカサギであつた。

ワカサギは鮎に似た美しい魚で味も鮎以上で、10cm.程の細長い魚で体は淡灰色に銀白色の鱗があり、2・3月頃水源地にそゞぐ川に遡つてくる群を待網か引掛針で釣るのである。引掛針は1本の糸に何本かの釣のついた針で魚の胸を引掛けて採るのである。